

[単位：千円]

2 福祉・医療・子育て支援・教育などの充実

35項目 2,623,100

<保健福祉局>

①産後ケア対策の充実強化（スマイルママ・ホッと事業） 10,800

支援が必要な出産直後の母親が、身近な地域で安心して育児を開始し、子どもを健やかに育むことができるよう、産科医療機関及び助産所等で行うデイケア（日中に通所）やショートステイ（一時宿泊）の利用を通じて、母親の心身のケアや育児サポート等の支援を行う。

対象者 産後1か月以内の母親とその子どもで支援者がおらず、育児不安や体調不良のある京都市民

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

②多様な保育サービスの拡充 23,400

◆延長保育の拡充 15,200

実施箇所 192→195か所

全体事業費 605百万円

(局配分枠590百万円, 政策的新規・充実事業予算枠15百万円)

◆休日保育の拡充 2,100

実施箇所 6→7か所

全体事業費 16百万円

(局配分枠14百万円, 政策的新規・充実事業予算枠2百万円)

◆病児・病後児保育の拡充 6,100

実施箇所 病児保育（病後児併設型）3→4か所

全体事業費 65百万円

(局配分枠59百万円, 政策的新規・充実事業予算枠6百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

[単位：千円]

③保育所整備助成

560,200

(新設) 3か所

- ・「金嶺会第二保育園 (仮称)」
定員 90人
場 所 左京区岩倉幡枝町
助成総額 128百万円
- ・「夢工房保育園 (仮称)」
定員 90人
場 所 左京区下鴨東高木町
助成総額 128百万円
- ・「天神川保育園 (仮称)」
定員 90人
場 所 右京区太秦安井二条裏町
助成総額 128百万円

(老朽改築及び定員増) 2か所

- ・「洛北幼児園」
定員 60→90人
場 所 北区小山西元町
助成総額 136百万円 (26～27年度2年計画事業)
- ・「上賀茂保育園」
定員 130→190人
場 所 北区上賀茂池殿町
助成総額 65百万円

(増築) 1か所

- ・「池坊保育園」
定員 60→110人
場 所 下京区室町通四条下る鶏鉾町
助成総額 70百万円

全体事業費 1,237百万円 (うち政策的新規・充実事業予算枠560百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

(2 福祉・医療・子育て支援・教育などの充実)

[単位：千円]

④昼間里親委託事業の拡充 **34,600**

実施箇所 41→46か所(定員25名増)

全体事業費 592百万円

(局配分枠557百万円, 政策的新規・充実事業予算枠35百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

⑤保育士等人材確保事業の充実 **6,000**

保育士等の確保対策として、「京都市保育士・保育所支援センター」を設置し、市内における保育士就職希望者と保育所のマッチング等を行うとともに、保育団体が保育士に対して実施する就業継続のための研修や、保育所への再就職を希望する潜在保育士への研修に対して補助を行う。

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

⑥情緒障害児短期治療施設「青葉寮」の移転再整備等 **139,000**

情緒障害児短期治療施設「青葉寮」について、民設民営化による移転再整備等を実施し、実施法人への整備助成を行う。

施設内容 情緒障害児短期治療施設及び児童養護施設「つばさ園」の合築施設

場 所 西京区山田平尾町

助成総額 461百万円(26～27年度2年計画事業)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

⑦児童養護施設退所児童等進学支援事業 **1,500**

児童養護施設を退所し、家族からの援助がなく大学へ進学した児童等に対して学業に専念できる環境整備につながるよう、学費の一部を助成する。

助成額 年間学費の1/2(上限：360千円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

⑧子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)の拡充 **5,700**

実施箇所 32→35か所

全体事業費 145百万円

(局配分枠139百万円, 政策的新規・充実事業予算枠6百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

[単位：千円]

⑨子育て支援情報発信の充実（スマートフォンアプリの作成） 6,200

子育て世代に向けたスマートフォンアプリを作成し、「授乳室・おむつ替えスペース」のある施設の案内や、「子どもの年齢別」等の登録区分に応じて、子育て関連のイベント情報をリアルタイムに発信するなど、子育て関連の情報を容易に取得できる環境を整備する。

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

⑩風しん予防対策の充実 24,000

現在、保健センターで実施している風しん抗体検査を、協力医療機関にも拡大して無料で実施するとともに、25年7月から緊急対策として実施している風しん予防接種の一部公費負担について、抗体検査等により抗体が不十分と判明した方に対し、26年度も継続して実施する。

対象者 抗体検査 妊娠を希望している女性及びその配偶者等
予防接種 抗体検査等により抗体が不十分と判明した方

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

⑪障害者共同生活援助事業所整備助成 83,400

(新設) 3か所

- ・「やましなの里グループホーム（仮称）」
定員 4人（短期入所2人併設）
場 所 山科区勸修寺福岡町
助成総額 31百万円
- ・「父母の会グループホーム（仮称）」
定員 8人
場 所 右京区西院西田町
助成総額 22百万円
- ・「みやこグループホーム（仮称）」
定員 6人（短期入所1人併設）
場 所 右京区西院上今田町
助成総額 30百万円

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

[単位：千円]

⑫訪問入浴サービス事業の拡充 16,000

重度障害者に対する居宅での入浴介護を行う訪問入浴サービス事業について、利用者の健康維持のため、利用回数及び対象年齢を拡大して実施する。

利用限度回数 5→10回

対象年齢 18歳以上65歳未満→18歳未満(障害児)にも拡大

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑬身体障害者社会参加促進事業の充実(意思疎通支援事業の実施) 14,600

障害者総合支援法に定める地域生活支援事業のうち、意思疎通支援が必須事業化されたことを踏まえ、新たに手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳介助員の養成事業及び盲ろう通訳介助員の派遣事業を実施し、障害のある方への意思疎通支援を充実する。

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑭障害者職場定着支援等推進センター事業 16,200

障害のある方の一般就労において、長期的な定着支援を図るため、本市独自に「京都市障害者職場定着支援等推進センター」を設置し、国、府が委託運営している「京都障害者就業・生活支援センター」と一体的な連携を図りながら、一般就労された障害のある方の長期就労をサポートする環境を整備する。

設置予定 26年4月

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑮介護基盤整備助成 557,500

◆特別養護老人ホーム建設助成 235,500

(新設) 2か所

・「船岡寮(仮称)」

定員 65人(養護老人ホーム50人,短期入所9人併設)

場所 中京区西ノ京新建町(中京いきいき市民活動センター跡地)

助成総額 225百万円(26~27年度2年計画事業)

・「深草しみずの里(仮称)」

定員 110人(短期入所10人併設)

場所 伏見区深草越後屋敷町

助成総額 368百万円(26~27年度2年計画事業)

[単位：千円]

◆地域密着型特別養護老人ホーム建設助成 137,300

(新設) 1 か所

- ・「松尾特別養護老人ホーム (仮称)」

定 員 29 人

場 所 西京区松室吾田神町

助成総額 137 百万円

◆小規模多機能型居宅介護拠点建設助成 82,300

(新設) 6 か所

- ・「ガーデンハウス西賀茂」(移転新築)

場 所 北区西賀茂南大栗町

助成総額 34 百万円

- ・「長啓会京都北山の家 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム18人併設)

場 所 北区鷹峯光悦町

助成総額 3 百万円 (開設準備経費)

- ・「長啓会京都左京の家 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム18人併設)

場 所 左京区静市市原町

助成総額 3 百万円 (開設準備経費)

- ・「清怜会京都久世の家 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム18人併設)

場 所 南区久世殿城町

助成総額 3 百万円 (開設準備経費)

- ・「洛和グループホーム・小規模多機能サービス中久世 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム18人併設)

場 所 南区久世中久世町

助成総額 6 百万円 (開設準備経費)

- ・「走和の郷 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム25人併設)

場 所 右京区梅津石灘町

助成総額 33 百万円 (開設準備経費)

[単位：千円]

◆認知症高齢者グループホーム建設助成 102,400

(新設) 6か所

- ・「長啓会京都北山の家（仮称）」
定員 18人（小規模多機能型居宅介護拠点併設）
場 所 北区鷹峯光悦町
助成総額 11百万円（開設準備経費）
- ・「長啓会京都左京の家（仮称）」
定員 18人（小規模多機能型居宅介護拠点併設）
場 所 左京区静海市原町
助成総額 11百万円（開設準備経費）
- ・「清怜会京都久世の家（仮称）」
定員 18人（小規模多機能型居宅介護拠点併設）
場 所 南区久世殿城町
助成総額 11百万円（開設準備経費）
- ・「洛和グループホーム・小規模多機能サービス中久世（仮称）」
定員 18人（小規模多機能型居宅介護拠点併設）
場 所 南区久世中久世町
助成総額 11百万円（開設準備経費）
- ・「走和の郷（仮称）」
定員 25人（小規模多機能型居宅介護拠点併設）
場 所 右京区梅津石灘町
助成総額 46百万円
- ・「洛和グループホーム醍醐寺（仮称）」（移転新築）
定員 9→18人
場 所 伏見区醍醐伽藍町
助成総額 11百万円

全体事業費 1,135百万円（うち政策的新規・充実事業予算枠558百万円）

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

[単位：千円]

⑩養護老人ホーム等建替整備助成 108,300

(新設) 2か所

◆盲養護老人ホーム「船岡寮」(移転新築) 60,000
定員 50人(特別養護老人ホーム65人, 短期入所9人併設)
場所 中京区西ノ京新建町(中京いきいき市民活動センター移転跡地)
助成総額 231百万円(26~27年度2年計画事業)

◆養護老人ホーム「健光園」(老朽改築) 48,300
定員 40人(地域包括支援センター併設)
場所 右京区嵯峨大覚寺門前六道町
助成総額 186百万円(26~27年度2年計画事業)

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

⑪敬老乗車証IC化検討・調査 3,000

「敬老乗車証制度の今後の在り方に関する基本的な考え方」の具体化に向け、敬老乗車証のIC化について必要な検討・調査を行う。

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

⑫市衛生環境研究所と府保健環境研究所の共同化に向けた整備基本計画の策定 2,100

市衛生環境研究所と府保健環境研究所の共同化による整備に向けて、府市が一体となって、具体的な基本計画をとりまとめる。

年次計画 26年度 基本計画の策定, 基本設計
27年度 実施設計
28年度 工事着工

[保健福祉局 保健医療課 TEL222-3411]

⑬地域リハビリテーション推進事業等の充実 2,200

「京都市におけるリハビリテーション行政の基本方針」を踏まえ、医療分野でのリハビリテーションから、在宅での生活期リハビリテーションへ、スムーズに移行できるようなモデル事業を行い、医療と福祉の連携体制を検討するとともに、事業者に対する研修を行う。

また、今後、身体障害者リハビリテーションセンターを中核として、高次脳機能障害者支援体制を構築するための調査等を行うとともに、相談支援従事者等に対する研修を実施する。

[保健福祉局 身体障害者リハビリテーションセンター TEL823-1650]

[単位：千円]

⑳生活上の福祉課題の解決に向けた支援の充実 **21,100**

◆生活困窮者自立促進支援モデル事業 4,800

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対する自立支援の充実・強化に向け、市内1箇所の福祉事務所において、試行的に「相談支援員」を配置し、本人の状態に応じて自立に向けた相談支援等を実施し、併せて事業の課題検証等を行う。

◆地域支援・生活支援の強化・推進 16,300

地域の自助努力だけでは対応が難しい、「ごみ屋敷」等の問題に対し、行政等の様々な関係機関と地域の様々な組織とが連携・協働を行いながら、支援を必要とする方に寄り添い、適切な支援に結び付ける福祉の専門職（支援員）を配置し、地域や様々な専門機関が持つ力を結集させ、福祉的な課題への支援機能を強化していく。

26年度は、京都市社会福祉協議会に3名を試行的に配置し、地域において支援活動に取り組む中で、ニーズの把握、効果測定等を行う。

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

㉑チャレンジ就労体験事業の充実 **8,900**

生活保護受給者の抱える自立への課題を克服するためのステップアップの場として、社会参加活動や居場所づくりを目的とした就労体験の場を提供することで社会参加意欲、就労意欲の醸成を図る。

26年度は、支援対象人数を拡大して実施する。

就労自立目標型（就労に対する不安解消や自信回復） 20人→40人

社会生活自立目標型（居場所づくりや生きがいづくり） 40人→80人

全体事業費 22百万円

(局配分枠13百万円、政策的新規・充実事業予算枠9万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

㉒人と動物が共生できるまちづくりの推進 **3,700**

◆京都動物愛護センター（仮称）プレ事業 2,700

27年4月の開所に向けて、センターにおける事業運営をより円滑に行うため、ボランティアスタッフの育成等を府市一体となって実施し、センター運営に係る体制の整備を図る。

26年度は、動物愛護出前講座の充実やボランティアコーディネーターの養成など取組を充実して実施する。

(2 福祉・医療・子育て支援・教育などの充実)

[単位：千円]

◆京都動物愛護憲章（仮称）の策定 1,000

京都動物愛護センター（仮称）（愛称：動物愛ランド・京都）の整備を契機に、人と動物との共生社会の実現に向け、目指すべき社会の姿や行動指針を示す「京都動物愛護憲章（仮称）」を府市協調で制定する。

全体事業費（25年度2月補正予算を含む）400百万円

（うち政策的新規・充実事業予算枠4百万円）

（参考）25年度2月補正予算 294百万円

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

㊸中央斎場再整備事業 212,800

供用開始後30年以上を経過し、老朽化が進んでいる中央斎場について、「京都市中央斎場のあり方検討委員会」からの提言を踏まえ、将来の需要増加への対応やサービス向上等のための施設整備を行う。

26年度は、施設の拡充に向けた整備工事等に着手する。

整備内容 収骨室の増設、レストラン設置、耐震改修 など

年次計画 26～27年度 整備

[保健福祉局 生活衛生課 TEL 222-3433]

㊹深草墓園・宝塔寺山墓地再整備事業 351,700

深草墓園・宝塔寺山墓地の一体整備によるバリアフリー化及び墓地の新規募集区画の造成を行う。

26年度は、整備工事に着手する。

整備内容 宝塔寺山墓地へのアクセス道整備

宝塔寺山墓地隣接地の墓地区画造成 など

年次計画 26～27年度 整備

[保健福祉局 生活衛生課 TEL 222-3433]

㊺市営墓地無縁改葬 47,300

無縁となっている墓地区画について縁故者調査を行ったうえで改葬し、当該区画を再整備することにより、新たに使用希望者を募集する。

26年度は、改葬及び跡地の整備を行う。

[保健福祉局 生活衛生課 TEL 222-3433]

[単位：千円]

【局配分枠における主な新規・充実事業(保健福祉局)】

[新規事業]

◇臨時福祉給付金支給事業	5,417,000
◇子育て世帯臨時特例給付金支給事業	1,528,000
◇水痘ワクチン接種の実施	144,000

[充実事業]

◇成人用肺炎球菌ワクチン接種の対象拡大	全体事業費 243,000 (うち充実分 236,588)
---------------------	-------------------------------

<文化市民局>

⑯婚活支援事業の拡充 5,000

市民一人一人が仕事や家庭生活，社会貢献などにおいて，生きがいと充実感を得て人生を送ることができる真のワーク・ライフ・バランスを進め，ひいては少子化対策にもつながる取組として，結婚を望む市民に，出会いと交流の場を設けるための支援等を行う。

26年度は，これまで取り組んできた「京都婚活」等と併せて，新たに，NPO法人等から，地域活性化など本市施策の推進につながる婚活事業を募り，審査をしたうえで事業補助を行う（補助率2分の1，上限額500千円）。また，婚活に関する情報発信や市民と共に「結婚」について考えるシンポジウムを開催する。

全体事業費 9百万円

(局配分枠4百万円，政策的新規・充実事業予算枠5百万円)

[文化市民局 勤労福祉青少年課 TEL 222-3089]

⑰京都市交通安全基本条例の推進及び京都市自転車安心安全条例の充実 10,000

25年7月から施行した「京都市交通安全基本条例」の推進及び「京都市自転車安心安全条例」の充実を図るため，高齢者や自転車利用者に対する交通安全啓発等を充実させる。

事業内容 京都市交通安全基本条例等の周知・広報，運転免許自主返納支援制度の創設，自動車教習所を活用した自転車安全利用講習，中学校及び高等学校におけるプロのスタントマンによる交通安全教室の拡大

全体事業費 26百万円

(局配分枠16百万円，政策的新規・充実事業予算枠10百万円)

[文化市民局 暮らし安全推進課 TEL 222-3193]

[単位：千円]

㊸ 「たばこマナー向上活動団体」制度等のマナー啓発の推進 3,500

24年度から行っている市民や事業者等による喫煙マナーの向上を図るための自主的な活動を支援する「たばこマナー向上活動団体」制度のモデル実施を踏まえ、本格実施を行う。

さらに、この制度を活用し、路上でのマナー（違法駐車、自転車マナー、歩きスマホなど）の啓発への支援も併せて行うことにより、団体の実情に応じた効果的な啓発活動を可能とする。

[文化市民局 暮らし安全推進課 TEL 222-3193]

<教育委員会>

㊹ 幼稚園における預かり保育の充実 34,000

子ども・子育て支援に関する新制度の本格実施に向け、幼稚園において、正規の保育時間終了後や長期休業期間中などにおいて在園児等を預かる預かり保育の充実を図るため、市立幼稚園で午後6時以降までの預かり保育の試行実施を行うとともに、私立幼稚園に対する補助制度を創設する。

◆市立幼稚園（試行実施）

実施内容 午後6時以降までの預かり保育
長期休業期間中の預かり保育

実施園 3か園

◆私立幼稚園預かり保育実施補助

補助額 午後6時以降まで預かり保育実施 200千円/園

午前8時以前から預かり保育実施 50千円/園

長期休業期間中、1日9時間以上預かり保育を実施

160千円/園

[教育委員会事務局 総務課 TEL 222-3768]

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]

㊺ 県費負担教職員の給与負担等の移管に向けた準備 5,100

県費負担教職員の給与負担等について、政令市と関係道府県の間で税源や権限移譲のあり方について合意に達したことに伴い、29年度の移管を目的に、移管後の人事給与事務に対応するシステムの構築に向け、人事給与システムの改修内容を調査・検討する。

[教育委員会事務局 学校事務支援室 TEL 841-3505]

[単位：千円]

⑪学校増収容対策

156,300

小・中学校における児童生徒数の増加に伴い、校舎増築・既存校舎等の改修を行い、教育環境のより一層の充実を図る。

(基本計画) 久世西小学校 (増改築)

(実施設計) 高倉小学校 (給食室改修)

(改修工事) 京都御池中学校 (教室等改修)

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

[教育委員会事務局 体育健康教育室 TEL 708-5323]

⑫子どもたちによる観光客を「おもてなし」する国際文化観光都市・京都の魅力発信事業

83,100

「東京オリンピック・パラリンピック」開催決定を契機に、次世代を担う子どもたちが京都の伝統と文化を知り、学び、体験できる機会を創出するとともに、海外からの観光客に対して京都の魅力を英語で伝え、京都ならではの「おもてなし」を実践できる英語力の育成に向けた事業を展開する。

実施内容

◆中学生への「京都・観光文化検定」受験料の補助等

◆京都ならではの実践的英語力プログラム

○英語教育強化拠点校 (小学校) における英語教育の専科教育等実践研究

○中学生・高校生を対象とした「英検 (実用英語技能検定)」の検定料補助

○Kyoto Global Kids in スチューデント・シティ (小学生を対象に英語のみでコミュニケーションを図る学習機会の提供)

○オールイングリッシュでの生活体験を行える「英語村」設置に向けたプログラム開発

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 251-0457]

[単位：千円]

③本との楽しい出会いの創出と心豊かに生きるための読書習慣の定着に向けて
～第3次京都市子ども読書活動推進計画の実践～ 17,300

25年度に策定する「第3次京都市子ども読書活動推進計画(26年度～30年度)」の実践に向け、新たに中学生や乳幼児を対象として読書ノートを配布するなど、家庭における読書習慣の定着に向けた取組を行うとともに、学校図書館の授業での活用に向けた実践事例集の作成、啓発イベントや出前貸出、児童コーナーの整備・充実等環境改善などによる京都市図書館の利用促進を行い、子どもの読書活動を、より一層推進していく。

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 251-0456]

[教育委員会事務局 中央図書館 TEL 802-3133]

④青少年科学センター展示スペースリニューアル 10,000

青少年科学センターの魅力を高め、児童・生徒・市民の科学への興味、関心をさらに向上させることを目的として、科学に関する最新情報に基づく話題性、アピール性を重視した新規展示品を計画的に整備するなど、展示スペースのリニューアルを実施する。

[教育委員会事務局 青少年科学センター TEL 642-1601]

⑤工業高校改革 38,600

洛陽工業高校及び伏見工業高校を統合し、新しい工業高校として、専門的・先端的な知識と技術の定着を図り、世代を超えたものづくり教育の場としての役割に対応する施設・設備の整備に向け、開校予定地である立命館中学・高校(伏見区)の整備に着手する。

◆用地測量・地質調査等 38,600

◆基本設計・実施設計 債務負担行為

債務負担行為設定額 140,400 (26～27年度)

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3811]

(2 福祉・医療・子育て支援・教育などの充実)

[単位：千円]

【局配分枠における主な新規・充実事業(教育委員会)】

[新規事業]

◇小学校における教科書採択及び独自の指導計画（京都市スタンダード）作成	14,500
◇教員の知的創造力探究事業など京都大学との連携	3,690
◇ミドルリーダー教職員養成総合実践推進事業	24,292
◇京都市図書館の利用促進に向けた開館日・開館時間拡大	20,547

[充実事業]

◇スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー配置拡大	
全体事業費	217,386（うち充実分 18,079）